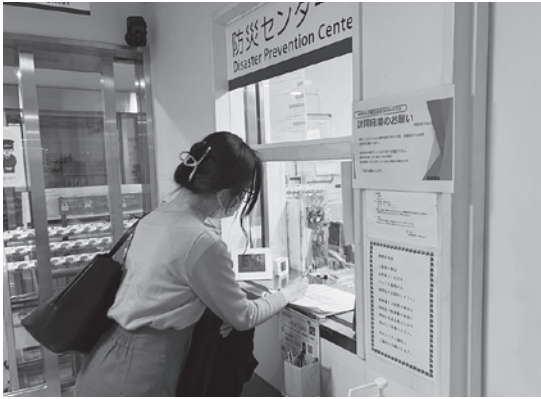


第7回 東京都立駒込病院

システム導入で訪問者の
滞留を一気に解消



東京都立駒込病院の防災センター

板橋 祐己 ● エム・シー・ヘルスケア株式会社
事業開発部 コトセラ事業ユニット

医療機関における外部業者の訪問管理と感染対策は、非常に重要な課題だ。株式会社スマートホスピタルが提供する「訪問管理MONITARO」は医療機関における訪問者マネジメントが効率的かつ安全に行えるDXツールとして注目されている。今回は都立駒込病院の横断的なマネジメントを受託している株式会社駒込SPCの野本英夫氏(運営統括部 担当部長)、施設警備を担務する株式会社JSSの高橋元気氏(池袋支店 主任)に、その活用事例について伺った。

防災センターの業務集中
感染症対策の課題に

都立駒込病院は主に感染症を診察する医療機関として1879(明治12)年に開設された。現在は、がんと感染症を中心とした高度医療サービスを提供する有数の総合病院として高い信頼が寄せられている。

2020年初めに新型コロナウイルスの感染者が確認されてからいち早く受け入れを開始した医療機関の1つでもあり、高いレベル



外部業者が訪問時に記帳する様式

での感染リスク対策が求められた。駒込SPCの野本氏は「ここ数年でオペレーションは変わりました。特に水際対策の部分が大きかった」という。「複数あった入口は1カ所に限定し、警備員を配置しました。そこで体温を測り、来院した目的を確認します。外部業者の方であれば、まず1階の防災センターへ案内したうえで、受付済みであることを示すバッジを付けてもらいます」と説明する。

その防災センターの役割も訪問管理だけではない。病院スタッフ

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立駒込病院

住所：東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL：03-3823-2101
URL：
https://www.tmhp.jp/komagome/
病床数：815床（一般785床 感染症30床）



への鍵の貸し出し、宅配業者への対応、拾得物の案内、駐車場の割引対応をはじめ多岐にわたる。しかも初めて来院した方を対応する場面も多く、どうしても時間がかかりがちだ。そのため、病院の動線上のボトルネックとなっていた。

JSSの高橋氏によると、朝7時半から9時頃まではさまざまな搬入物があって混雑し、夕方の4時から6時はMRなどの受付で混雑する。野本氏は「感染症対策だけでなく、病院から求められるサービス品質を担保するうえで課題でした」とつけ加えた。



株式会社JSS 高橋元気氏



株式会社駒込SPC 野本英夫氏



「訪問管理MONITARO」による入退管理

本格導入までわずか1カ月 スムーズな運用開始を実現

このような課題のあった入退管理の改善策として見つけたのが、「訪問管理MONITARO」だった。野本氏は「こちらは外部業者のスマートフォンにあらかじめアプリをインストールしてもらって入退管理を行うソリューションです。医療機関向けサービス比較サイトの『コトセラ』で相談した方から紹介を受けました。決め手は導入費用が一切かからなかったこと。導入までの意思決定もスムーズでした」という。

21年2月からの「訪問管理MONITARO」運用に先立ち、まず行ったのは外部業者への説明とお願いだった。あらかじめ用意されていたチラシやポスターなどの素材を駒込病院での運用に合わせて調整し、約1カ月の周知期間を設けてアプリのダウンロードを呼び掛けた形だ。

高橋氏は「定期的な訪問のある製薬会社や医療機器会社に運用費を負担いただくのですが、アプリを入れたスマホをMONITAROの端末にかざして受付済のバッチを付けるというセルフ式の入退管理への変更についてご理解いただけたいと思います。1カ月という周知期間は決して短すぎず、間延びもせず、ベストだったのでは」と当時を振り返った。

シンプルな運用でも デジタル化の効果を体感

「訪問管理MONITARO」はセキュリティ対策や感染症対策のために活用している病院が多い。また、

同製品にはアポイント調整機能もあるため、事業者の訪問予定や目的をシステム上で管理し、効率的な運営を行っている病院もある。

それに対して都立駒込病院では、従前のバッチ着用や病院スタッフによる声かけで安全性が担保できていたという考え方だ。野本氏は「当院は手書きの記帳をデジタル化しただけですから、他の病院と比べればシンプルな運用です。しかし防災センターでの待ち時間を減らすという目的はすぐに達成されました」といいながら、思わず笑みをこぼした。

聞き手

エム・シー・ヘルスケア株式会社
事業開発部コトセラ事業ユニット
板橋祐己

いたばし・ゆうき ●医療機関向けウェブサイト「コトセラ」は医療機関の働き方改革、経営改善、業務効率化を叶えるための最新ソリューションを紹介する比較サイトで、「もっと患者さんのために時間を使えるように」をコンセプトにしている。現在、同サイトのコンテンツ制作やPR業務に従事する。
<https://www.cotocellar.com/>

